

次の50年への取組み着手を

一般社団法人 全国さく井協会 令和5年度臨時社員総会開く

(一社)全国さく井協会は令和5年11月8日、大阪市淀川区のホテルメルパルク OSAKAで、令和5年度臨時社員総会を開催し、令和5年度前期(4月～9月)の会務及び事業実績や、後期(10月～3月)の予定が報告され、承認した。

総会の冒頭、足立敏之会長欠席のため、若林直樹会長代行から挨拶があり「本協会は来年で50周年を迎える。自然災害が近年頻発激甚化する中、我々は防災井戸の整備・拡充などに力を注ぐ責務がある。物価上昇や人材不足などの逆風に対し、全員が一致団結して難局を乗り越え、100周年に向かう新たな取組みを始める時期に差し掛かっている。社会動向に合わせて協会活動を行う。中でも地下水利用設計管理技術者、



挨拶する若林直樹会長代行



臨時総会会場

登録さく井基幹技能者、さく井技能士の育成と技能士資格の建設キャリアアップシステム(CCUS)によるレベル判定など、担い手のレベル向上と将来に向けた確保策を強化していく」と力強く述べて、会員の団結を呼びかけた。

総会と並行して近畿支部主催の「いい井戸の日」のイベントが実施され、講演会では、地域発電事業の普及ビジネスを展開する(株)おこしエネルギー会長沼田昭二氏が地熱エネルギーのポテンシャルと普及における課題を解説、人口減少社会下の土地利用、エネルギー、ビジネスの考え方を披露した。ブースは、27

企業・団体が井戸関連の製品やパネルなどで自社をPRした。

近畿支部主催の懇親会は午後6時から同ホテル内で132名の参加で開催された。新型コロナウイルスの流行で4年振りの対面での開催となり、久しぶりの再会で盛り上がり、終了時刻となった。次回は(一社)全国さく井協会創立50周年で東京開催を予定している。最後に次回開催地中央支部の若林直樹支部長の“関東一発締め”でお開きとなった。



いい井戸の日展示ブース

翌日は快晴のもと田辺カントリー倶楽部で28名の参加で、懇親ゴルフコンペが行われ、近畿支部支部・西棟慶悟氏が優勝した。

臨時社員総会、いい井戸の日、懇親会、ゴルフコンペにご参加頂きました皆様お疲れさまでした。また、これら一連の事業を計画、実行して下さった近畿支部の皆様には厚く御礼申し上げます。